

東京都立 立川 英語 出題傾向と対策

出題傾向の分析

①はリスニングテスト。短い対話やメッセージを聞き、その内容についての問いに答えるものです。なお、この①は共通問題と同じです。②は会話。③は物語。全体を通じて、登場人物の心情や、指示語・下線部の具体的内容を問う問題が多いです。また文挿入問題が必ず出題されています。内容一致は、これまで、記号問題と空所補充の2種がありましたが、今年は記号のみとなりました。しかし、そのうちの1つは、選択肢の数が多くなっています。近年、記述問題が増加傾向にあります。その中で目立つのが、本文から語句を抜き出す問題です。本文中に答えはあるものの、条件がいくつか付いているものがあつたり、見つけるまでに時間がかかってしまうものもあつたりします。

昨年までと比較すると、小問数に大きな変化は見られませんが、問題は明らかに難しくなつたとと言えます。右表からもわかる通り、条件英作文の比重が大変大きくなりました。これまでは、③の最後に、自分の体験を40～50語程度で書く8点分の出題でしたが、今回は、前後の文脈から空所に自分で補充する問題が2問計12点、その他2問計10点という構成になっています。

入試までに準備しておくこと

文章中に使われている単語、表現は決して難しいものではありません。しかし、設問の形式が変わり、配点も大きく変わったことで、来年以降は要注意です。登場人物の心情や、指示語・下線部の具体的内容を問う問題は、立川高校だけでなく、様々な高校で見られる形式なので、多くの問題に触れ、慣れておきましょう。記述問題については、本文から語句を抜き出す問題が多いので、本文を読み始める前に、設問を必ずチェックする癖をつけておきましょう。また今年から登場した形式の条件英作文は、論理的思考力が必要とまではいかないものの、特徴のある問題となりました。解説をしっかりと読み込み、なぜその解答になるのか、根拠となる部分を見つけること、解答にたどり着くまでの過程を理解することから始め、徐々にこの出題形式に慣れていきましょう。

リスニングは、継続的に英語を聞き取る練習が必要です。英検準2級・3級程度の聞き取り問題で練習することが効果的です。

| 英語 分野別出題形式 | | 22年度 | 21年度 | 20年度 | |
|------------|----|-------------|------|------|----|
| リスニング | 記号 | 内容理解(含英問英答) | 12 | 12 | 12 |
| | 記述 | 英問英答 | 8 | 8 | 8 |
| | | 和問和答 | | | |
| 小計 | | 20 | 20 | 20 | |
| 語彙 | 記号 | 綴り | | | |
| | | 語形変化 | | | |
| | | 発音・アクセント | | | |
| 小計 | | | | | |
| 文法 | 記述 | 適語(句)選択 | | | |
| | | 適語(句)補充 | 2 | | 2 |
| | 記号 | 語順整序 | | | |
| | | 部分英作 | | | |
| | | 完全英作 | | | |
| 小計 | | 2 | | 2 | |
| 読解 | 記号 | 内容理解(含英問英答) | 8 | 12 | 16 |
| | | 内容一致 | 6 | 8 | 16 |
| | | 段落・文整序 | | | |
| | | 段落・文・節挿入 | 8 | 8 | 6 |
| | | 適語(句)・文選択 | 4 | 14 | 4 |
| | | 語順整序 | 4 | 4 | |
| | 記述 | 内容理解(指示語など) | 4 | 4 | |
| | | 語形変化 | | | |
| | | 空所補充 | 20 | 22 | 28 |
| | | 和文英訳 | | | |
| | | 部分英作 | | | |
| | | 英問英答 | | | |
| | | 条件英作 | 22 | 8 | 8 |
| 和問和答 | | | | | |
| 小計 | | 78 | 80 | 78 | |
| 合計点 | | 100 | 100 | 100 | |

東京都立 立川 国語 出題傾向と対策

出題傾向の分析

例年通りの大問 5 題の構成で、総小問数は 25 題でした。

□ は漢字の読み取り問題です。例年、訓読みの漢字の他、普段の文章ではあまり目にする事のない二字熟語の出題があります。今年度は「殊更(ことさら)」などが出題されました。

□ は漢字の書き取り問題です。例年、訓読みの漢字の他、四字熟語の書き取りが出題されます。今年度は「電光石火」が出題されました。

□ は小説文からの出題です。例年、設定や場面から登場人物の心情を推測して記述形式で解答する問題が複数出題されます。短時間で、自分の読み取った内容を記述する力が問われています。

□ は論説文からの出題です。短めの記述形式で解答する問題が多く、200 字の小論文も出題されます。本文中の難解な表現を自分の言葉で的確に説明する力が必要とされます。

□ は鑑賞文からの出題です。古文の素養が必要とされるため、韻文・古文の知識が必要です。また、語句に関する出題も多いので、漢字や文脈から語句の意味を推測する力が必要です。

全体として、記述形式で解答する問題が多いので、自分の考えを短時間で記述する力が問われているといえるでしょう。

| 国語 出題分野一覧表 | | 22年度 | | 21年度 | | 20年度 | |
|------------|-------------|------|-----|------|-----|------|-----|
| | | 記号 | 記述 | 記号 | 記述 | 記号 | 記述 |
| 漢字語彙 | 漢字の読み取り | | 10 | | 10 | | 10 |
| | 漢字の書き取り | | 10 | | 10 | | 10 |
| | 四字熟語・語彙 | | | | | | |
| 文法・表現 | | | | | | | |
| 敬語 | | | | | | | |
| 資料を含む文章 | | | | | | | |
| 小説 | 心情を問う設問 | 8 | 13 | 10 | 18 | 15 | 8 |
| | 場面を問う設問 | 4 | | | | | 4 |
| | 語句 | | | | | | |
| | 本文との正誤問題 | | | | | | |
| 論説 | 接続語の補充 | | | | | | |
| | 傍線部の理由を問う設問 | | | | | | |
| | 傍線部の説明を問う設問 | 4 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 |
| | 段落関係を問う設問 | | | | | | |
| | 語句 | | | | | | |
| 鑑賞文 | 本文との正誤問題 | 8 | | | | | |
| | 接続語の補充 | | | | | | |
| | 傍線部の理由を問う設問 | | | | | 5 | |
| | 傍線部の説明を問う設問 | 4 | 5 | 10 | 4 | 5 | 4 |
| | 引用文の表現を問う設問 | | 10 | | 4 | | |
| | 語句 | 4 | | 4 | | | 8 |
| 随筆 | 本文との正誤問題 | | | | | | |
| | 接続語の補充 | | | | | | |
| | 傍線部の理由を問う設問 | | | | | | |
| | 傍線部の説明を問う設問 | | | | | | |
| | 段落関係を問う設問 | | | | | | |
| 語句 | | | | | | | |
| 本文との正誤問題 | | | | | | | |
| 作文 | | | 10 | | 10 | | 10 |
| 合計 | | | 100 | | 100 | | 100 |

入試までに準備しておくこと

漢字の書き取りは小中学校で学んだものから出題されますが、訓読みの熟語の出題が多く、普段から注意して難しい音読み・訓読みの熟語を学習しておくといでしょう。また、四字熟語の書き取り問題も出題されます。基本的な四字熟語・三字熟語を学習しておきましょう。

小説文・論説文・鑑賞文を通して、記述形式で解答する問題が、他の都立自校作成問題校よりも多く出題されています。本文中の難しい表現を自分の言葉で言い換える練習をしておくといでしょう。わからない表現に関しては、辞書などを活用して調べるとともに、自分なりに平易な表現に言い換える練習をしてみるようにしましょう。

東京都立 立川 数学 出題傾向と対策

出題傾向の分析

出題構成は例年通りの大問4題、うち1題が独立小問集合形式で、総小問数は、14題でした。

①は平方根の計算、連立方程式、2次方程式の解法、面積比、作図の5題でした。どれも基本問題で、面積比は、正方形内の1点と各頂点を結んだときにできる三角形の面積の関係を利用する問題でした。作図は、反比例のグラフを利用しなくても、三平方の定理から1:2: $\sqrt{5}$ の直角三角形を考えると、解ける問題でした。

②は放物線と直線、切片の公式の利用、回転体、台形の面積比の問題でした。回転体は、難しい図のように見えますが、条件から座標を求めると、基本問題となります。ただし、計算処理がやや大変なので、正答率がやや低かったかもしれません。面積比の問題は典型的な考え方から求められる問題でした。

③は円で、円周角、相似と特別角を利用する線分比、相似の証明の問題でした。相似の証明は例年より平易でした。線分比は対応している相似を探し、特別な三角形の辺の比を利用する問題でした。

④は5進法の考え方を利用した場合の数の問題でした。2進法や3進法の問題を解いたことのある人は少し考えやすかったと思われます。

入試までに準備しておくこと

出題傾向は例年とほぼ変わりません。②は関数で、公式、面積比、等積変形などの典型問題の出題が目立ちます。対策をしておきましょう。③の証明問題は、対称性を利用したり、他の証明を介するなど、複雑な出題になることがあります。記述対策も含め、まずは図を使って問題用紙に書き、整理しながら解答しましょう。④はその場で考えていく、やや難易度の高い問題が出題されます。3問中、最初の1問は比較的解きやすい問題となっているので、文章をよく読み必ず正解をするようにしましょう。

| 領域 | 内容 | 配点 | | |
|---------|------------|------|------|------|
| | | 22年度 | 21年度 | 20年度 |
| 数と式 | 数の性質・表現 | | | |
| | 数の計算 | | | |
| | 式の計算 | | | |
| | 平方根 | 6 | 6 | 5 |
| | 多項式の乗法 | | | |
| | 因数分解 | | | |
| | 小計 | 6 | 6 | 5 |
| 方程式 | 1次方程式 | | | |
| | 連立方程式 | 6 | 6 | 5 |
| | 2次方程式 | 6 | 6 | 6 |
| | 方程式の応用 | | | |
| | 不等式・不等式の応用 | | | |
| | 小計 | 12 | 12 | 11 |
| 関数 | 比例と反比例 | | | |
| | 1次関数 | | 12 | |
| | 2次関数 | | | |
| | 変化の割合・変域 | | | |
| 関数と図形 | 直線と曲線 | 7 | 10 | 6 |
| | 関数と図形 | 17 | 18 | 16 |
| | 小計 | 24 | 40 | 22 |
| 三角形・四角形 | 角度 | | | |
| | 作図 | 7 | 8 | 6 |
| | 合同 | | | 6 |
| | 相似 | 10 | 10 | 16 |
| | 三角形 | | | |
| | 平行四辺形 | 7 | | |
| 円と平面図形 | 円周角の定理 | 7 | | 6 |
| | 円と弧・弦・接線 | 7 | | |
| | 線分、線分比 | | 12 | |
| | 面積、面積比 | | | |
| | 点の移動と図形 | | | |
| 空間図形 | 線分、線分比 | | | |
| | 面積、面積比 | | | |
| | 体積、体積比 | | 6 | |
| | 点の移動と図形 | | | |
| | 回転体、球 | | | 6 |
| | 小計 | 38 | 36 | 40 |
| 確率 | 場合の数 | | | |
| | 確率 | 20 | 6 | 22 |
| 総合問題 | 数と式 | | | |
| | 図形 | | | |
| | その他 | | | |
| | 小計 | 20 | 6 | 22 |
| | 合計 | 100 | 100 | 100 |